

出土遺物

塚墓1の溝から土師器（はじき）と呼ばれる素焼きの皿が出土しました。形などの特徴から室町時代前半（約650年前）のものと思われる。

皿のふちには黒い炭化物が固着しており、もとは灯明皿（とうみょうざら）として使用されていたものでしょう。

底部の端に小さな穴が1か所あけられました。なんらかのまじないか、墓で使う際に雨水が溜まらないようにするためにあけられたものと思われる。



塚墓1出土の土師器皿（直径7.5cm）

塚墓について

塚墓は、県内では、東庄内B遺跡（鈴鹿市）、横尾墳墓群（松阪市）、斎宮跡・北野遺跡（明和町）、蚊山遺跡左郡地区（玉城町）などでみつかっています。県内の塚墓は鎌倉時代からつくられはじめ、初期のものは中央の埋葬施設が長方形で大きく、これらは土葬であったと考えられています。副葬品も初期のものは、硯や小刀、青磁椀など比較的高い身分や地位を示すものが多くみられます。時代が下って室町時代になると、中央の埋葬施設は丸く小さくなり、火葬した遺骨を納めるためのものに変化します。副葬品もほとんど見られなくなります。

塚墓のつくられる場所は、見晴らしの良い山の中腹や丘陵上が多く、また、北野遺跡（明和町）や田所遺跡（愛知県一宮市）のように道の交差点付近（辻）につくられることもあります。四辻遺跡では道路の遺構は確認されていませんが、塚墓の近くに辻があったのかも知れません。そうすると、「四辻」の地名は室町時代までさかのぼる可能性もあります。

まとめ

室町時代の塚墓が2基、近・現代の土坑墓が6基みつかりました。周辺には戦国時代の五輪塔なども多くみられ、調査区周辺が中世以降、現代まで、墓域として利用されていたことが分かりました。

遺跡名 四辻遺跡
原因事業 東海環状自動車道建設事業
調査委託 国土交通省中部地方整備局
調査主体 三重県教育委員会
調査担当 三重県埋蔵文化財センター 〒515-0325 三重県多気郡明和町竹川 503
TEL:0596-52-1732/FAX:0596-52-7035 <http://www.pref.mie.lg.jp/maibun/hp/index.shtm>
いなべ整理所 〒511-0415 三重県いなべ市北勢町東貝野 454 番地
TEL:0594-72-8955/FAX:0594-72-8970

東海環状自動車道 発掘調査だより

いなべ編 No.2

三重県埋蔵文化財センター

2017.9.2

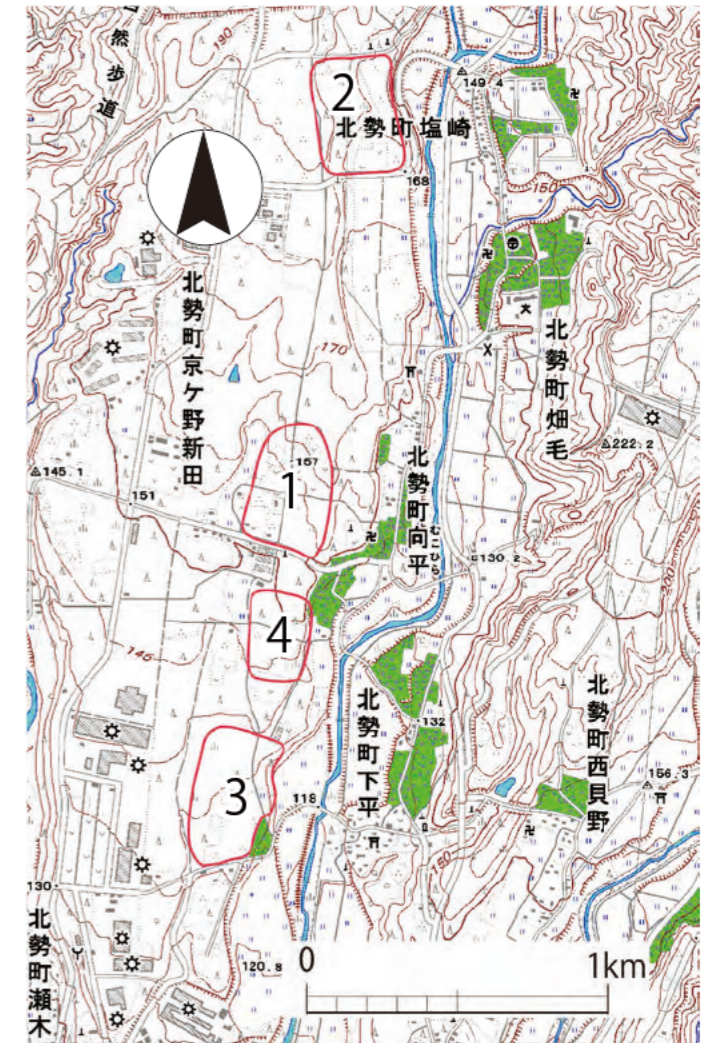
はじめに

三重県埋蔵文化財センターでは、国土交通省中部地方整備局の委託を受け、平成27年度から東海環状自動車道建設事業に伴う発掘調査を行っています。

今回発掘調査を行った四辻遺跡（よつつじいせき）は、いなべ市北勢町向平にあります。石器製作に伴う剥片や中世以降の施釉陶器片が採集されたことから、平成19年度に遺跡として登録されました。

四辻遺跡の周辺では、ほかに、空畑遺跡、下平大野A遺跡、下平大野B遺跡など多くの遺跡が確認されています。

四辻遺跡では、平成27年度から発掘調査を行っており、今年度は第3次調査となります。これまでの調査では、江戸時代の溝や縄文時代早期の土器片などがみつかっています。また、遺跡内には戦国時代頃の五輪塔などの部材が多く集められている場所も残されています。



四辻遺跡周辺の遺跡

- 1 四辻遺跡
- 2 空畑遺跡
- 3 下平大野A遺跡
- 4 下平大野B遺跡



四辻遺跡内に集められている五輪塔の部材

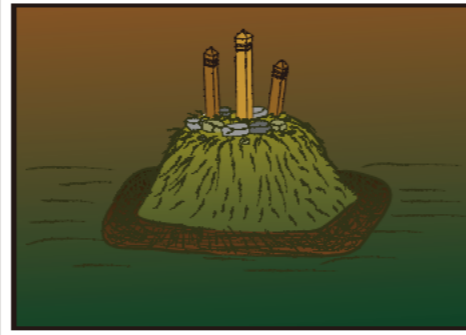
見つけた遺構

東側の5工区において、室町時代前半（約650年前）の塚墓（つかぼ）が2基見つかりました。塚墓は中世（平安時代末～戦国時代）の墓のひとつで、ほぼ全国に分布しています。

墓の中央には埋葬する穴があり、その周囲は溝で四角く区画されています。区画の大きさは、塚墓1が約5.0m四方、塚墓2が約2.7m四方あります。現在は失われていますが、区画の内側（中央の穴の上）には土を盛ってつくられた塚があり、石や木でできた供養塔（くようとう）が立てられていたものと思われま（右図参照）。

塚墓の他には、これまでの調査でもみつかった江戸時代の開墾に伴う区画溝が、4工区と5工区の両方で見つかりました。溝は、現在の地割りの方向にほぼ沿っています。

また、4工区では、近・現代の土坑墓6基と火葬施設跡がみつかりました。この火葬施設は比較的最近まで使用されていたものです。



塚墓（想像図）

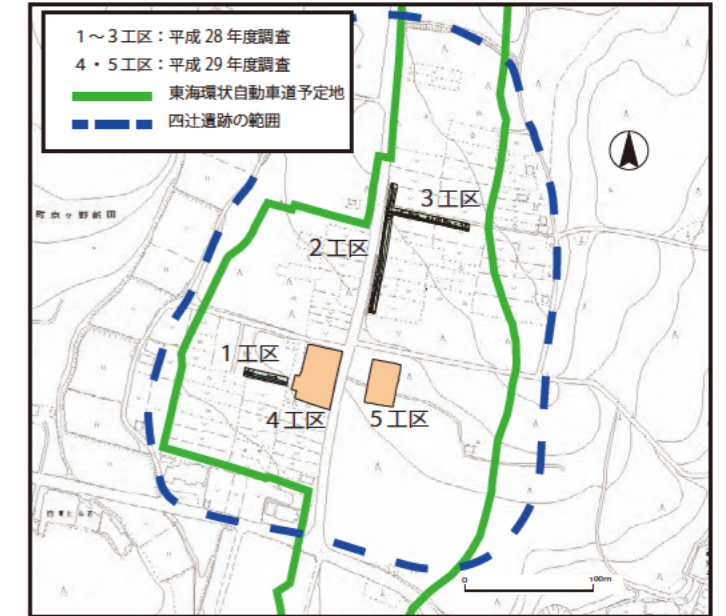


塚墓2 全体の様子（南から）



塚墓2 中央の穴（東から）

大きさ・形状から、遺体ではなく、遺骨を納めるための穴と思われます。穴の側面は平坦な石で補強されています。



四辻遺跡 調査区配置図



塚墓1 全体の様子（東から） ※奥は塚墓2 中央に埋葬する穴があります（白線）。



塚墓1 溝の断面（南から）

土が左（西側）から流れ込んでいる様子が分かります。現在は失われていますが、中央部に塚が存在したことをうかがわせます。

